

# 神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第003号

令和3年4月23日(金)発行

新年度、4月も残すところ一週間となりました。いつもなら楽しみなGW(ゴールデンウィーク)も新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みると、自粛モードが継続しそうです。しかし、ピンチはチャンス。この自宅で自分と向き合う時間が増える機会に、新しい本との出会いを求めて、普段手を出さないジャンルの本を借りてみませんか?また、あまり見ないジャンルの映画を見てもいいと思います。そのほかにも、家事の手伝いや料理にチャレンジしたりして自分自身の経験値を上げて楽しみましょう。これらの体験で皆さんの知識の幅は大きく広がり、自分の夢がはっきりと見えてくるものです。いろいろな体験・模擬体験は、いつか自分の運命を切り開くアイテムになるものだと思います。たくさんの経験値は自分自身のレベルアップと夢実現に向けた必需品です。

4月12日(月)の学年朝礼より  
今回は学年講話のなかから

## 【2学年 徳田先生のお話】



〈かつて〉 天動説 → 〈現在〉 地動説

〈数年前〉 式典等 正式な場ではマスクを外す → 〈現在〉 常時 マスク着用

上記の例のように、世間や人々の常識や価値観に絶対不変なものはない。

↓

- ①自分と違う考え方や価値観を否定せず、認められること
- ②世間の常識や価値観にとらわれて自分を苦しめないこと。

## 【1学年 上原先生のお話】



- ・高校生活に慣れよう  
今はきついと感じる事も、続ければ慣れて、普通感じられる。  
→ 出来ることが増える
- ・昨年度の3年生の「飛翔」(合格体験記)を読むと「自分の弱さ」に負けてしまったと反省する人が多かった。

自分の弱さに勝つためのトレーニング法

↓

小さな事でもいいので、「迷ったら、きつい方を選ぶ」  
そうすることで、少しずつ自分を鍛えることができるようになる。

学年朝礼は、色々な先生方が、自分の体験や経験してきたことなどをもとに、今、皆さんに伝えたいことを講話します。  
講話後、皆さんも何かに挑戦してください。

## 【神戈陵魂】



Jingaryo Damashii

KAWANABE, KAGOSHIMA, JAPAN SINCE 1900



Jingaryo Damashii

KAWANABE, KAGOSHIMA, JAPAN SINCE 1900

今年11月20日に川辺高校創立120周年記念式典が本校で開催されます。

(昨年秋に実施予定でしたが、コロナ禍の影響で一年後に延期されました。)

このデザインは、保健体育科の高山先生が創立120周年記念事業に向けて制作されました。校長通信の題字のバックにも使わせていただいています。皆さん、どのような形でこのデザインが使われているのか楽しみにしてください。

それにしても、このデザインのクオリティーの高さ(カッコイイ!)

辺高の先生方の秘めた能力と実力は最高だと思いませんか。

## 沖永良部島の「百合の花」



3月まで本校勤務の養護教諭徳重明日香先生は4月から沖永良部高校に転勤されました。島の特産である「えらぶ百合」の花を学校に贈ってくださいました。きれいな花を眺め、漂う香りは幸せな気分させてくれます。徳重先生ありがとうございます。

上の中の水道管  
高いビルの下下水  
大事なもの  
表に出ない  
相田みつを

大事なものが存在する場所を教えてくれる、相田みつをさんの名言です。

あなたにとって大事なものは何ですか？私達は表に出ている(目に見える)ものを大事と感じる事が多くなりがちです。

・顔が命・ファッションが命・お金が命  
などなど、各々が大事と感じているものは表に出ているものが多いものです。これは別に

悪いことでもなく、自分の大事なものを把握できているという点では良い事です。

水道管や下水だって、大事ですが、各々が大事とは感じていないものでも、何かあったら一大事だから国がお金をかけて管理している訳です。実は私達にも、水道管や下水の様な本当に大事なものが存在します。やはり、表には出ていません。それは、臓器や心です。なのに、水道管や下水と違って、管理が行き届いていません。臓器は健康診断などで自己管理がある程度できます。それでも、臓器の病気で亡くなる人がいます。心に至っては、レントゲンで見える事すら出来ないの、殆ど放置状態です。あなたの表に出ていない大事なもの「心」は、しっかり管理されていますか？大事という認識はあるけど、表に出ていないので放置したままにしていますか？

日頃の管理がなければ問題が起こり易かったり、問題発生時の被害が深刻になったりして当たり前。表に出ない大事なものにも目を向けて管理する事で安心を得られるはずです。

「心」を放置したままにするのではなく、不調を感じたら相談やカウンセリングをお勧めします。